

調査の概要

1 調査の目的

日本の高校生の学習意識、ICT（情報通信技術）の活用や学校生活の実態、及び将来への展望などを把握する。また、米国、中国、韓国と比較して、日本の特徴や課題を分析し、青少年の教育の向上に資する基礎データを提示する。

2 調査方法等

調査の実施時期、調査対象などは次のとおりである。

	日本	米国	中国	韓国
調査機関	国立青少年教育振興機構	BuzzHunter(委託)	中国青少年研究センター	韓国青少年活動振興院
調査時期	2016年9月～11月	2016年9月～11月	2016年9月～11月	2016年9月～11月
学校数	18	16	24	36
調査地域	北海道 岩手県 宮城県 茨城県 東京都 神奈川県 山梨県 長野県 大阪府 兵庫県 岡山県 山口県 愛媛県 福岡県 鹿児島県	California Connecticut Georgia Hawaii Illinois Indiana Louisiana Michigan Minnesota Mississippi New Hampshire North Carolina Oklahoma Pennsylvania Virginia	北京市 四川省成都市 湖南省常德市 広東省仏山市 遼寧省瓦房店市 甘肅省臨洮市	ソウル 京畿 仁川 江原 大田 世宗 忠北 忠南 大邱 釜山 蔚山 慶北 慶南 光州 全北 全南 済州
調査方法	集団質問紙法	集団質問紙法	集団質問紙法	集団質問紙法
有効回答者数 (票)	2015	1540	2499	1800

3 調査内容

勉強の態度、勉強の時間と方法、勉強のプレッシャー、得意なこと、成績、ICT（情報通信技術）の活用、体験学習、学校生活、将来受けた教育の水準、人生目標など。

4 調査対象者の基本属性

この調査は4か国とも普通科高校を対象としている。性別と学年別の割合は下表のとおりである。

(%)

		日本	米国	中国	韓国
性別	1. 男	48.0	47.6	46.7	47.2
	2. 女	51.6	51.5	53.2	52.8
	無回答	0.4	0.9	0.1	0.0
学年	1. 高1	33.6	34.7	34.9	50.0
	2. 高2	33.3	33.4	31.5	50.0
	3. 高3	33.0	31.1	33.4	0.0
	無回答	0.0	0.8	0.2	0.0
	実数(人)	2015	1540	2499	1800